

憲法しんぶん 速報版

発行 憲法改悪阻止各界連絡会議 (憲法会議)

Eメール mail@kenpoukaigi.gr.jp
ホームページ http://www.kenpoukaigi.gr.jp

TEL03-3261-9007
FAX03-3261-5453

2026年3月26日(木)

NO. 1666号

本号3頁

憲法会議が春の学習講座 渡辺氏講演 市民の力で改憲阻止

憲法改悪阻止各界連絡会議 (憲法会議) は22日、春の憲法講座「憲法の危機、守り生かす大運動ではねかえそう！」を東京都内で開きました。高市早苗首相が改憲に執念を燃やし、無法な戦争を繰り返すトランプ米政権追従の姿勢を示すもと、会場いっぱいの140人、オンライン、宮城・中野での集団視聴を含む330人が学び合い、草の根から改憲を阻止する決意をみなぎらせました。

渡辺治一橋大学名誉教授が「高市内閣の改憲・軍拡策動の狙い、どう立ち向かうか」と題して講演。高市自民党が総選挙で「大勝」したのは、政権維持をかけ新自由主義の修正・延命路線に転換し、「暮らしをなんとかしてほしい」と切望する国民の支持を奪い取ったからで、国民は改憲・軍拡を白紙委任したわけではないと指摘しました。

ホルムズ海峡への艦船派遣について高市首相が「日本の法律の範囲内で、できることとできないことがある」と述べたことを挙げた渡辺氏は「改憲・軍拡を狙う高市政権に立ちはだかるのが、自衛隊の活動を制約させる憲法9条と市民の運動です」と強調。「戦争させないため今、私たちにできることは戦争反対、戦争に加担するな、戦争準備の憲法改悪を許すなどの声を上げ、市民の共同を広げることです」と述べました。



日本共産党の山添拓参院議員がオンラインで国会報告しました。

参加した埼玉県富士見市の石川さん(70)は「総選挙の結果にがっかりしましたが、国民は改憲を望んでいないと分かりました。戦争のない日本を続けたい」と話しました。

中野・野方9条の会 20人で学習

中野会場には、20人が参加、視聴しました。年令的には、区議ひとりが40代以外は、60~80歳。オンライン不調の間と終了後は、参加者自己紹介・「9条の会・のがた」の活動報告とお誘い・定例の中野駅アピール行動を紹介しました。

そして、3月19日国会前参加者が撮ってきた映像を流し、交流しました。

渡辺先生の講演、山添さんの報告で、参加者は自分のできることは？と元気になりました。ありがとうございます。根岸志のぶさん報告

宮城では57人で集団視聴で学びあう

宮城憲法会議は「市民連合宮城」から呼びかけがあり、共同で「渡辺治講演をみんなで視聴する会」を仙台弁護士会館で開催しました。リアルタイムで講演をオンラインで視聴。開催にあたり、チラシを作成し、しんぶん赤旗に折りこんで宣伝。その効果もあって、会場には会場いっぱいの57人が参加されました。視聴後、交流し、改憲阻止に向けた決意を語り合いました。

参加者の感想

◆反核医師の会 kさん

今の情勢の中で、たいへん分かりやすい有意義な講演でした。若い方が運動に参加されてきていることは大変力強く感じています。(高校生4人参加)

◆市川新婦人 Nさん

私の父は悪名高き歩兵第一七連隊。フィリピンからの帰還兵。加害の戦争責任を知るために調べています。とても正視できない記録を見ました。

このことを子どもや姪や甥に知らせ、真相を学びバトンタッチしていきたい。

◆婦人民主クラブ Sさん

私にとってタガが外れた今までにない異常な政治情勢がとてもしっかり解明されて、とても良かった。特に高市の言ってきた「積極財政」がこういうことだったのかが分かって、良かった。

以前、「憲法は死んだ」という発言があったが、そのことに大変怒っていたのが、あまり分からなかったが、本日の話の最後の方で、なるほどという気がした。

ご案内

憲法会議のホームページに、渡辺治氏の講演録画と、レジメと資料が掲載されています。ぜひ、集団視聴学習や個人での学習に、ご活用ください。可能でしたら、視聴されたら、カンパを憲法会議に送ってください。

「なんだ!どうした!」 夕食会で踊る高市首相

19日の日米首脳会談に臨んだ高市早苗首相が、トランプ大統領主催の夕食会に出席した際、米軍音楽隊の奏でる音楽に合わせて派手なアクションをまじえて歌い踊っているような様子の写真が、ホワイトハウスの公式ホームページに掲載されています。

写真は、楽団の音楽に合わせて全身を使って歌い踊っているような高市首相をとらえたもの。ホワイトハウス公式サイトが、夕食会の様子を伝える写真コーナーの1枚目に掲載しており、SNSで賛否の声が出ている。

この写真をあえて1枚目に掲載したホワイトハウス側の意図をいぶかる指摘もあり、「(公式サイトの) いちばん上のいちばん左って、やっぱり意味ありますよね」との声も。

この写真の踊りが、高市氏が主張する「世界の真ん中で咲き誇る日本外交を取り戻す」と言う外交の姿なのです。「米国のポチ」そのものではないですか。

その高市氏、帰国後、アメリカのトランプ大統領との会談で「世界に平和と繁栄をもたらせるのはドナルドだけ」と伝えた真意を、国会で説明しました。

高市首相は「中東をはじめとする国際社会の平和と繁栄に向け、米国がリーダーシップを発揮し、建設的な役割を果たすことは重要。日本としてもこれを支持してきております。特にトランプ大統領に対して直接、伝えたものです」と語りました。

「世界に平和と繁栄をもたらせるのはドナルドだけ」発言

トランプ外交とその波紋が国際情勢を揺さぶっています。第2次トランプ政権が発足から1年を迎えた2026年1月3日、ベネズエラのマドゥロ大統領を拘束、デンマーク自治領グリーンランドを領有する意欲を示したかと思えば、2月28日にはイランに対して大規模な軍事行動を起こすなど、従来の国際秩序の前提を次々と覆すトランプによる蛮行が行われています

そのトランプ氏を「世界に平和と繁栄をもたらせるのはドナルドだけ」と、発言したことは信じられません。世界中から、驚きと批判の声が上がっています。



雨の中2.4万人 国会前で憲法改正・イラン攻撃抗議デモ

憲法改正に反対し、米国・イスラエルとイランの戦闘に抗議するデモが25日夜、東京都千代田区の国会前で行われました。雨が降る中、参加した約2万4000人は国会周辺の歩道を埋め尽くし、ペンライトを振ったりプラカードを掲げたりして「改憲反対」「武力で平和はつukれない」などと声をあげました。また、60000万人が同時中継を視聴しました。合わせて、8万4000人。

この行動は「平和憲法を守るための緊急アクション」と題し、研究者やアーティストら市民有志でつくるグループ「WE WANT OUR FUTURE」と「憲法9条を壊すな! 実行委員会」が呼びかけました。



2月の衆院選で改憲に意欲を示す高市早苗首相が率いる自民党が圧勝し、憲法改正発議ができる3分の2を超える316議席を単独で獲得しました。こうした背景から両団体は2月に緊急アクションを開催し、今月10日にも国会前に約8000人が集まるなど関心が広がっています。

歌手の坂本美雨さんも参加し、マイクを手に「憲法は日常の中にある小さな幸せを守るために絶対に必要なもの。手放してはいけない」と訴えました。

東京都武蔵野市のアルバイトの女性(25)は「今行かないと後悔すると思った」と話しました。同三鷹市のフリーライターの女性(55)は「こうした活動に参加するのは10年ほど前の安全保障関連法案に反対するデモ以来。憲法9条を掲げて戦争に反対するのは日本人だからこそできることだと思う」と語りました。

すごい参加者でした。

首相が派兵約束と米国連大使がメディアに。官房長官は否定

米国のウォルツ国連大使は22日、米CBSのインタビューに答え、米・イスラエルの対イラン攻撃で危険な状態に陥っているホルムズ海峡の安全確保を巡り、「日本の首相は海軍(海上自衛隊)の派遣を約束した」と述べました。

19日(日本時間20日未明)の日米首脳会談での高市早苗首相とトランプ米大統領のやりとりを念頭においた発言だとみられます。一方、具体的な支援の時期は明言しませんでした。

ウォルツ氏は、ペルシャ湾を通過する原油の80%はアジア向けだとして、「同盟国は(部隊を)派遣すべきだ」と期待感を示しました。

トランプ氏は会談で、ホルムズ海峡の安全確保への支援を日本に要請。これに対して高市氏は「日本の法律の範囲内で、できることとできないことがある」と説明したと述べています。茂木敏充外相は22日のフジテレビ番組で、首相が「憲法9条の制約」を説明したことを明らかにしました。

ただ、日本政府は明確に派兵を拒否しておらず、茂木氏は停戦後に機雷除去で自衛隊を派兵する可能性に言及しています。

木原稔官房長官は23日の記者会見で、「日本として何か具体的な約束をした事実はない」と述べました。

トランプ大統領 イラン発電所の攻撃を5日間延期 イラン側と「非常に生産的な対話」

ころころと発言が変わるトランプ米大統領は23日、イランとの敵対関係の「完全かつ全面的な解決」に向け、「生産的な対話」を行ったとSNSで明らかにしました。その上で対話継続の意向を示し、イランの発電所などへの攻撃を5日間延期するよう国防総省に指示しました。ただ、イラン側は対話の事実を否定しました。

トランプ氏は21日午後(日本時間22日午前)、イランが事実上封鎖している原油輸送の要衝ホルムズ海峡を48時間以内に開放しなければ、イランの発電所を攻撃する方針を表明。期限は23日午後に迫っていましたが、攻撃は当面回避された形です。

トランプ氏は、イランと今週も「建設的な対話」を継続するとの見通しを示し、発電所のほか、エネルギー関連インフラへの攻撃の5日間延期を指示しました。しかし、「進行中の協議の成功」を条件としていました。

トランプ氏は23日、記者団に対し、イランと22日に協議したと明らかにし、「主要な合意点」に達したと説明。イランが取引を望んでいると強調しました。

一方、イランメディアによると、イラン高官は「交渉はこれまでも行われておらず、今後も行われる予定はない」と述べました。イラン側が反撃する構えを示したことでトランプ氏が姿勢を「後退させた」との見方も示しました。

これに先立ち、イラン軍中央司令部報道官は22日、発電所が攻撃を受けた場合、ホルムズ海峡を「完全に封鎖する」と警告しました。イラン側は封鎖の長期化や、米イスラエルに関係するエネ

ルギー関連施設への反撃、ペルシャ湾での機雷敷設などに言及して米側をけん制し、緊張が高まっていた。

米イスラエルとイランの衝突開始以降、大半の船舶がホルムズ海峡の航行を中止しました。イランメディアは22日、国際海事機関（IMO）のイラン代表者の話として「敵」に該当しない船舶であれば調整した上で通航が可能だと報じました。海峡の主導権を誇示し、個別交渉で各国を取り込む狙いがあるとみられます。

米イスラエルとイランの交戦は23日も続いています。AFP通信によると、イランのアリアバディ・エネルギー相は「テロ・サイバー攻撃により、水や電気関連のインフラが甚大な被害を受けた」と発表。イスラエル軍は同日、イランの首都テヘランのインフラに対する大規模攻撃の実施を明らかにしました。

改憲原案の提出と国民投票の早期実現を明記…自民党運動方針案

自民党が4月の党大会で採択する党の2026年運動方針案の全容が23日、判明しました。党是の憲法改正について「必ずや実現する」と掲げ、改憲原案の国会提出と国民投票の早期実現を明記しました。党勢拡大に向け、来年の統一地方選を含めた重要選挙を勝ち抜く姿勢を強調し、選挙対策におけるSNS戦略強化の姿勢を打ち出しました。

運動方針案では、昨年11月に結党70年の節目を迎えたことを踏まえ、「強い覚悟を持って、国民投票による憲法改正の早期実現に全力を尽くす」と表明しました。具体的には、緊急事態条項などこれまでの論点整理の蓄積を踏まえ、衆参の憲法審査会に条文起草委員会を設置し、改憲原案の作成と国会提出を目指すとししました。

ネットCM規制等、投票環境整備のための国民投票法改正案などの早期成立も図るとしました。

大勝した2月の衆院選で得た国民の期待を確かなものとするため、26年に行われる重要地方選挙や来年の統一選、28年の参院選など「予定される選挙を一つ一つ勝ち抜いていかなければならない」と強調。統一選は党勢拡大の上で「最重要課題」と位置付けました。

今後の選挙では、SNS活用が「絶対不可欠」との認識を示し、党本部だけでなく都道府県連でも質・量共に発信強化を図る方針を示した。生成AIによるフェイク動画など偽・誤情報流布や当選を目的としない「2馬力選挙」などの課題対処に向け、総合的な対策を推進するとも訴えました。運動方針案は党総務会で了承後、4月12日の党大会で採択される見通しとか。